

# そば粉工房

大いなる飛躍へ

## JA上川中央



愛山地区  
株式会社 愛

2015  
NO.93

12

発行・上川中央農業協同組合  
愛別町本町 125  
Tel(01658)6-5315  
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>  
編集・営農部 営農振興課

# 環太平洋連携協定(TPP)大筋合意!!

10月5日、米アトランタで行われていた環太平洋連携協定(TPP)交渉が参加12ヶ国による閣僚会合で大筋合意となりました。

今回のTPP関税交渉の内容は、農林水産物(加工品含む)分野では全2328品目のうち81%にあたる1885品目の関税が、即時・または最長21年かけて段階的に撤廃されることとなります。

当初から、「聖域」としてきたコメなど重要5品目の農産物は、政府が「関税は維持できた」としているものの、一部の品目では関税は撤廃されるほか、大幅な関税の削減や、コメを無関税で輸入する特別枠の設定など、譲歩が目立つ結果となりました。

以下、農産物における主な合意内容をご紹介します。

種類	品目	現在の関税率など	合意内容
コメ	主食用米	国家貿易制度 77万トンのミニマムアクセス枠 (最低輸入量、非課税) 枠外関税341円/kg	国家貿易制度、枠外の関税維持 米国とオーストラリア向けに特別輸入枠設定(発効時5万6千ト、13年目に7万8400ト、オーストラリアは米国の12%)
	調整品 加工品等	米粉調整品(加糖)関税率23.8% 米粉調整品(無糖)関税率16.0% 穀物加工品21.3%など	米粉調整品は税率を5~25%削減 輸入量が少ない品目は関税削減、撤廃
麦	小麦	国家貿易制度 枠外関税55円/kg	国家貿易制度、枠外の関税維持 関税に相当するマークアップ(輸入差益)は9年目までに45%削減 米国、オーストラリア、カナダに国別枠を新設。 発効時計19万2千トから段階的に増やし、7年目以降は25万3千ト
	大麦	国家貿易制度 枠外関税39円/kg	国家貿易制度、枠外の関税維持 関税に相当するマークアップ(輸入差益)は9年目までに45%削減 TPP輸入枠設定。参加国合計で発効時2万5千ト、9年目に6万5千ト
牛肉・豚肉	牛肉	関税率38.5%	発効時27.5%に下げ、10年目に20%、16年目からは9%。緊急輸入制限(セーフガード)は16年目以降、4年間発効がなければ廃止する
	豚肉	価格の安い部位 482円/kg 価格の高い部位関税率4.3%	価格の安い部位:10年目に50円/kgまで引き下げ。セーフガードを導入(12年目以降廃止) 価格の高い部位:10年目に関税撤廃
乳製品	バター 脱脂粉乳	国家貿易制度 枠外関税率 バター 29.8% + 従量税 985円/kg 脱脂粉乳 21.3% + 同 396円/kg	TPP輸入枠設定。発効時3188ト(生乳換算6万ト)、6年目に3719ト(同7万ト)まで増やす
	チーズ	モッツアレラ、カマンベールなど 関税率29.8% 粉チーズシュレット チーズなど関税率最大40% ブルーチーズ関税率29.8%	モッツアレラ、カマンベールなど関税維持、粉チーズ、シュレット チーズなど16年目に撤廃 ブルーチーズなど11年目で税率半減
甘味・ 資源作物	粗糖・精製糖	関税率21.5円/kg + 糖価調整制度 による調整金57.4円/kg	糖価調整制度は維持、精製用原料糖に限り関税を無税とし、調整金を少額削減
	でんぷん	WTO約束数量など輸入枠16万7千ト 枠外関税119円/kg + 糖価調整制度 による調整金	輸入枠内にTPP枠7500ト設定 糖価調整制度は維持
豆類など	小豆・ インゲン	枠内10%、枠外354円/kg	枠内は即時関税撤廃、枠外は現行維持
野菜	キャベツ ホウレンソウ ニンジンなど	関税率3%	即時撤廃
	ジャガイモ	関税率4.3%	即時撤廃
	タマネギ	73.7円/kg以下の低価格品:関税率8.5%	6年目に撤廃
鶏肉など	鶏肉	8.5%(骨付き) 11.9%(骨なし)	基本的に段階的に11年目に関税撤廃ただし、冷蔵丸鶏と冷凍鶏肉(丸鶏および骨付きもも肉を除く)については段階的に6年目に撤廃
	鶏肉調整品	6%、21.3%	牛・豚の肉を含むものについては、段階的に11年目に関税撤廃 その他は段階的に6年目に関税撤廃





## 北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」 第28回 JA北海道大会開催される

11月11日、札幌コンベンションセンターで第28回JA北海道大会が開催され、全道のJA及び青年部・女性部約2,300人が参加し、当JA役員も出席しました。

「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」をテーマに、農業所得20%増大や道民550万人との「つながり」づくりなど、初めて数値目標を盛り込んだ大会議案を決議し、環太平洋連携協定（TPP）から北海道農業を守るための特別決議も採択しました。

大会実行委員長を務めたJA道中央会の飛田稔章会長は「農業は生命産業。携わる者それぞれの自助努力と、消費者・地域住民の理解と協力の基に成り立つ産業だ」と強調し、農業やJAへの理解



と共感を広げ、後世に道農業を引き継ぐためにJAグループ丸となるよう呼び掛けました。

1号議案では「力強い農業」の実現に向けて農業所得を20%増やし、新規担い手を年間約1,200人に倍増させることを基本目標にしました。2号議案は「豊かな魅力ある農村」のために、積極的な情報発信で道民550万人にJAグループのサポーターになってもらうことを掲げました。3号議案は基本目標実現に向けた組織の取り組みを盛り込み、組合員・役職員の「人づくり」を柱に据えました。

大会決議はJA道青協の齊藤和弘会長が上程し、議案に掲げた基本目標を達成し、議案の実践内容や農業・JAの意義をグループ内外に発信することで、



道民550万人から信頼されるJAグループを目指すことを決議しました。

TPPの特別決議では、合意内容の全容と国会決議との整合性について説明責任を果たし、生産者の不安を払拭するよう強く求め、国産農畜産物に対する指示と信頼を高める意志も示しました。







# より一層の良質な農産物の生産を 愛別町米麦生産振興協議会設立20周年記念式典開催される

11月19日、協議会設立20周年を祝い、会員並びに関係各位の多くの皆様のご出席を頂き盛会に記念式典を開催いたしました。

式典では、鉛口会長の挨拶に始まり歴代役員表彰、来賓の前佛町長、旭川食糧(株)佐々木社長、野口組合長より祝辞を頂戴し、記念講演会では、元北海道立中央農業試験場の稲津修氏を講師に『愛別米のブランド化、ひと工夫・生産と販売』と題し講演を頂きました。



平成8年に米、畑作物の生産向上を図る為、生産者自らが立ち上がり良質米生産・実需者訪問・栽培講習会等の活動を行うべく設立し関係各位のご支援を頂きながら愛別町農業の発展に努めて参りました。

今回、20周年の節目に更なる愛別町農業の発展に向け、より一層の良質な農産物の生産を目指し取組んで参りますので、関係各位の皆様にはこれまで通りのご支援、ご協力をお願い致します。

最後に、大変ご多忙の中、多くの皆様にご出席を頂き誠にありがとうございました。



歴代役員表彰 (左から)  
久保田 (元副会長・伏古) 氏  
成田 (前副会長・中央) 氏  
佐橋 (元副会長・中央) 氏



旭川食糧(株)  
佐々木 代表取締役社長



20年のあゆみを語る  
水谷 (元参事・厚生) 氏



元北海道立中央農業試験場  
稲津氏による記念講演







## 綺麗な…プリザーブドフラワー作成も体験!! JA上川地区女性協議会中央部Bブロック研修会へ参加

10月28日、JA東神楽女性部が主催するBブロック研修会が同JA大会議室で135名参加のもと開催され、愛別・上川支部からも45名が参加しました。

神楽寺住職の加藤昭治氏から『今、いかに生きるか』と題し、講演を頂き、お釈迦さまの「爪の上の砂」と、受けた思いは何年・何十年の月日が過ぎてても大切にすべきとのお話がありました。

また、レクリエーションでは旭川農業高校草花交流班の皆さんの協力で、水やりの必要がなく長持ちしインテリアとしても注目されているプリザーブドフラワーを作成しました。

各部員が作成したプリザーブドフラワーはそれぞれの綺麗なオンリーワンの出来映えでした。

楽しく充実した研修会をご準備頂いたJA東神楽女性部の皆さんありがとうございました。



## 平成27年度 JA北海道 女性リーダー研修会・北海道家の光大会

11月5～6日、シャトレゼ・ガトーキングダムサッポロで平成27年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が道内JA女性部員約550名が集まり開催され、当女性部からも4名が参加しました。

講演では、1日目は福島大学行政政策学類教授岩崎由美子氏が「女性が真に輝く農業・農村を目指して-JA女性部活動に期待すること-」と題し、いま、女性農業者に期待したいこととお話していただきました。2日目はJA北海道厚生連高齢者福祉部部长福嶋美奈子氏が「みんなで支える在宅介護 介護者にとっての～はつらつ人生のススメ～」と題し、高齢者介護の特徴や実態についてお話しいただきました。



大会では、「家の光記事活用体験発表・表彰式」や「家の光持ち寄り読書会」、対話型研修会「手作り工夫展」が開催され、工夫展には当女性部からは手芸品や加工食品の大福などを出展、全道からは320点が集まり、参加者は作り方を教え合いながら交流を深めました。



## ブレスレット製作も行われました! JA女性部フレッシュミズ交流会開催される

11月12日～13日、旭川市内でJA女性部フレッシュミズ交流会が開催され、当フレッシュミズ部員3名も参加しました。

1日目はボウリング大会で交流を深め、2日目は道フレミズ部会の報告と今後の日程を確認し、『エアーパール&ビーズのブレスレット』製作を行いました。限られた時間の中で参加者は思い思いのものを作り、終始和やかに交流が行われました。

今年の交流会は久しぶりの2日間での交流となりましたが、毎年地区の役員の方が様々な企画を考えてくれ開催されていますので、今年参加できなかった部員の皆様もぜひ来年は参加をお待ちしております。







## JA北海道大会と愛別町産酒米の蔵元へ JA役員視察研修開催される

11月10日から12日までの日程により、役員視察研修が開催されました。

研修先は、第28回JA北海道大会と栗山の小林酒造の2ヶ所で研修視察し、JA北海道大会については、全道のJA及び青年部・女性部で総勢約2,300人が参加し、「強い農業」・「豊かな魅力ある農村」・目標を実現するための「各組織等の取組」の3議案を満場一致で承認を受け盛会のうちに終了いたしました。続いて、愛別町伏古の（農）伏古生産組合で栽培を行っている酒米を仕込み、地酒「ふしこ」の生産・販売を行っている蔵元の小林酒造（株）を視察いたしました。南杜氏との



懇談の中で、近年は中小の蔵元が造る本醸造の日本酒の消費が増え中高年層を中心に愛飲家のイベントの集客も増えているとのことで、愛別でも「ふしこ」のイベントを是非検討したいとおっしゃっていました。愛別町の酒米の評価は、道内産地の中でも安定した産地との評価をいただきました。

なお、新酒の発売は12月10日を予定しておりますので、是非この機会に「ふしこ」のご愛飲をよろしく願いたします。



## 愛別町産きのこのPRを 第12回北海道きのこ品評会及び第4回北海道きのこフェスティバル開催される

11月10日、札幌中央卸売市場において第12回北海道きのこ品評会が開催されました。この品評会は全国各地で栽培されているきのこの栽培技術の向上と消費者の皆様に道内で栽培されているきのこをもっと知っていただくよう開催されているものです。

続いて、11日には札幌市（チカホ）において第4回北海道きのこフェスティバルが開催され、愛別町産きのこを求めているお客様も多かったですが、更に多くの人に求めていただけるようPRしてきました。

品評会の結果は次のとおりです。



最優秀賞

（林野庁長官賞）  
・（農）ヒット（えのき）



優秀賞

（北海道きのこ生産・消費振興会長賞）  
・（農）下伏古菌茸生産組合（なめこ）



優良賞

（北海道きのこ生産・消費振興会長賞）  
・（農）タッグ（舞茸）



# 復習および新たな制度の仕組みについて 平成27年度愛別町農業青色申告会 講演会・慰労会開催される



11月18日、愛別町農業青色申告会の講演会・慰労会が「協和温泉」にて開催されました。

講演会では、税理士法人小城会計事務所の横手章子税理士に「確定申告における留意点やマイナンバー制度のしくみ」を演題に、参加者に問題を解いてもらいながら、楽しく学ぶことができました。

今年度の確定申告に向けて、余裕を持って早めに準備しましょう！



## 農業機械センターよりお知らせ

《売りたい情報》農業機械センターに展示中

11月24日現在の情報です。

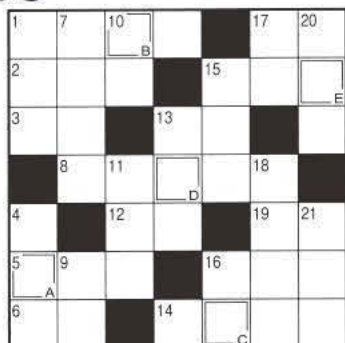
品名	銘柄	型式	数量	税込金額	備考
ポット苗箱	みのる		1	130	1,300枚有り 無選別 現状渡し
管理機	三菱	MMR 6	1	120,000	点検整備済
代掻きローター	ニプロ	HR 2 8 1 0 B	1	150,000	現状渡し
バッテリーカー	ブリジストン		1	60,000	作動確認済 現状渡し
コードリール			1	5,000	100V 50M 現状渡し
南瓜磨き機			1	5,000	作動確認済 現状渡し
ハットグラインダー	日立	G 1 0 S B 1	1	5,000	作動確認済 現状渡し

売りたい遊機農機具はありませんか？

ご希望の方は窓口までご相談下さい。

◎お問い合わせは◎ JA上川中央 購買部購買課農業機械センター  
☎ 01658-6-5004

### パズル? 頭の体操



#### タテのカギ

- 書籍の本文の前に入れられるイラスト
- 火消しが火事場で振りました
- お通し、先付けということもあります
- 100なら3、1000なら4
- リンゴを丸かじりすると残ります
- カレンダーや手帳に書き込みます
- サケやマスの卵の塩漬け
- 昨日、今日、――
- カヤなどを編んで作った両具
- 太陽や月が輝く所
- かかとのすぐ上にある出っ張り
- 版木に載せた紙を上からこする道具
- 領収書に収入――を貼った

#### ヨコのカギ

- 杖元につるしてサンタクロースを待ちます
- クリスマススイブにフライド――を食べた
- 切った植木の形を整えます
- 時刻を知るために見ます
- スキーヤーが足に着けるもの
- ダイニングテーブルのこと
- 地図記号は社
- ――の上にも三年
- 肉はぼたんと呼ばれます
- 気象用語では、ひょうより小粒な物を指します
- 運転免許証や保険証で証明すること
- 年越しに付きものの種類
- ――16世はマリーアントワネットの夫

### パズル? 頭の体操

先月号の  
答え



解答 A B C D E  
ツルシガキ



## 今月の表紙

- 法人名 / 株式会社 愛 (めぐみ)
- 代表者名 / 代表取締役 中井 太志
- 設立年 / 平成21年4月
- 資本金 / 4,000千円 (平成26年12月現在)
- 構成員数 / 4戸
- 生産物 / そば・もち米・野菜



### 表紙メンバーを紹介します



菊地初枝・菊地勝博・杉本一史・林 義勝  
中井太志・林 信幸  
(代表取締役)

## するーらいふ 守るといふことの重さ

これまで何度、日比谷公会堂の石の椅子にまんじりともせず座ったことだろう。一睡の余地もないほどの集会場では、ある時は照り付ける太陽を思い切り浴び、またある時は滴り落ちる雨粒に背広上下を晒した。

思い出してもらいたい。△農産物の重要5品目について段階的な関税撤廃も認めないことや、△農産物重要5品目などの聖域確保を優先する。それが確保出来ないと判断した場合は脱退も辞さないものとする。これが2013年4月衆参両農林水産委員会で採択された、「TPP協定交渉参加に関する決議」文である。

この国会決議を守るよう幾度も要請集会が開催されたのである。時が流れ2015年10月に大筋合意があった。果たして国会決議は守られたのか。永田町の緩い坂道を何度も歩いたことを思い出す。果たして「守る」ということが容易い事ではない事を歴史は語る。

おおかたの城砦は四方を堀で囲んだ高台に造営された。周りからの攻撃に備えたものと言える。堀を渡ったところで、城壁を攻めようにもRカーブの石垣は至難の業である。天守閣からの見張りは十分である。しかしそれでも歴史の節目で、城砦は攻められたのである。後口上は何の役にも立たないのだ。牙城をこじ開けられたが最後、勢いを止められない。さあ今回はどこをどう見たら「守った」と言えるのだろうか。「守った」と言わなければ「脱退も辞さない」との決議文と整合性が取れなくなったのであろう。

だれも国会決議を踏み外したとは言わない。先延ばし事項さえないとして臨んだ交渉には、後々重く押し掛かる事案は多い。若者達も立ち上がった安保法案反対運動の時も、憲法学者を蚊帳の外に押しやった。カロリー換算39パーセントの食料自給率の国家には、崇高な誇りを持ち得ない。むしろ内外の賢者は、外圧に弱い国家として大いに憂えているのかも知れない。ポスターに「美しい日本」の文字が有る。しかし、きのう急に美しい日本になったのではない。耕作者達の弛まない長い歴史がそこにはあったのだ。



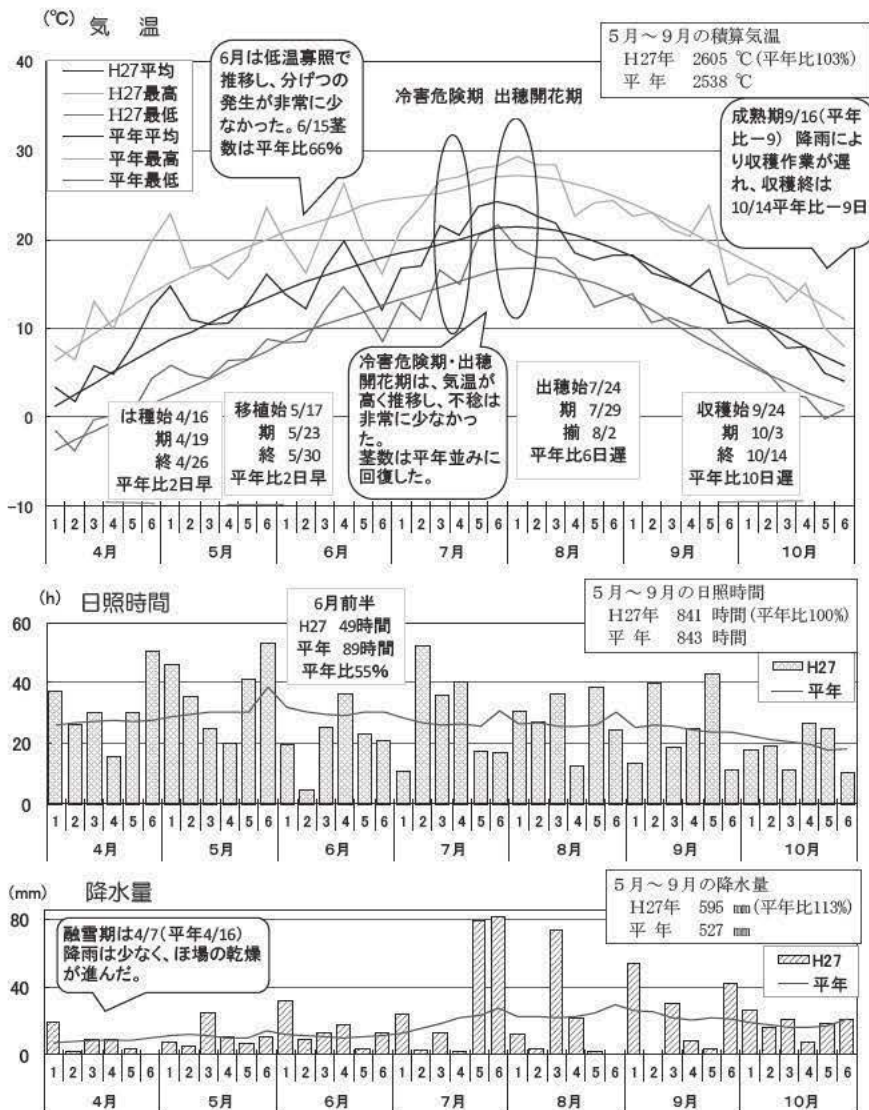


# 平成27年産の米作りをふりかえって

上川農業改良普及センター

## 1 平成27年の気象経過(比布アメダス)と水稻生育

生育期節：上川農業改良普及センター作況ほ(7カ所平均) 成苗ななつぼし



本年は初期生育が著しく悪く、穂数不足が懸念されました。しかし、7月3半旬からの高温により、茎数は平年並みに回復、稔実歩合も高く、結果、収量も平年並みとなりました。

成熟期は平年より9日遅れの9月16日となりました。

収穫作業は降雨、降雪により、さらに遅れ、収穫終は平年比10日遅れの10月14日となりました。

## 2 収量・品質

(H27年11月13日現在 JA上川中央本所)

本年の収量構成要素・決定要素は平年並みとなりました。(表1)

低タンパク米出荷率は「ななつぼし」27%、「ゆめぴりか」S区分(6.8%以下)32%、第1区分(6.9～7.4%)40%でした。

もち品種の整粒歩合は「きたゆきもち」8割、「風の子もち」は2割が高整粒となりました。

図1 成苗ななつぼしの草丈・茎数(穂数)の推移 上川農業改良普及センター作況ほ(7カ所平均)

表1 上川農業改良普及センター作況ほ収量構成要素・決定要素(7カ所平均、篩目1.9mm)

	H27	平年
m <sup>2</sup> 穂数(本)	588	596
一穂粒数(粒)	59.0	59.0
m <sup>2</sup> 総粒数(百粒)	347	352
稔実歩合(%)	96.7	94.0
千粒重(g)	22.4	23.0
精玄米重(kg/10a)	670	668
屑米(kg/10a)	35	28

## 3 次年度にむけて

アメダスの平年値から愛別の出穂晩限は8月5日、上川の出穂晩限は7月31日です。出穂晩限までには出穂揃いとなるよう、5月末までの移植、過剰な穂数としない施肥窒素量を心がけましょう。

JAのあゆみ

11月

- 1日 スーパーアークス桜町店催事(北見)
- 3日 上川地区秋の収穫祭  
(旭川地場産センター)
- 4日 内部審査協議会監査 営農部  
(上川 30日)
- 5日 平成27年度JA北海道女性部リーダ  
ー研修会・北海道家の光大会  
(札幌 6日)
- 6日 定例企画会議
- 9日 内部審査協議会監査 営農部  
(12日)
- 10日 新規高等学校卒業予定者採用選考試験  
第12回北海道きのこと品評会  
JA役員視察研修(12日)
- 11日 第28回JA北海道大会(札幌市)  
第4回北海道きのことフェスティバル  
(札幌駅前チカホ)
- 13日 上川地区JA青年部大会(旭川市)  
愛別町七菜振興協議会・上川町畑作  
園芸振興会合同役員会  
臨時企画会議
- 17日 臨時企画会議
- 18日 愛別町農業青色申告会 平成27年度  
講演会・慰労会
- 19日 愛別町米麦生産振興協議会設立20周  
年記念式典
- 23日 大上川神社新嘗祭・神札頒布式  
臨時企画会議
- 24日 上川町農業青色申告会 税務研修会  
JA青年部上川支部・フレッシュユミ  
ス部会 収穫感謝祭
- 25日 第10回定例理事会  
コンプライアンス研修会
- 26日 農協懇談会(JA青年部合同)
- 30日

第9回定例理事会

平成27年10月23日開催

■報告事項

- 1 組合員の脱退について  
3名の脱退について報告した。
- 2 平成27年度JA共済コンプライアンス  
点検結果について  
点検結果について内容を報告した。
- 3 全国監査機構監査事務整備事項に係  
る回答について  
事務整備事項に対する回答内容並  
びに内部監査室の検証結果について内  
容を報告した。
- 4 農家経済対策委員会の報告について  
第4回農家経済対策委員会の開催  
内容を報告した。

1 議 事  
平成27年度産馬鈴薯に係る概算仮払  
金について  
平成27年生産数量に対する概算仮  
払金について承認された。

2 規程の制定並びに一部改正について  
制定1件、改正1件が承認された。

3 長期資金の融資について  
1件の融資について承認された。

組合員のうごき

(平成27年10月23日現在)

正組合員戸数	386戸
総組合員数	2,641名
正組合員数	597名
うち団体数	34団体
准組合員数	2,044名
うち団体数	71団体

平成27年度 年末年始

	総 務 部 営 農 部	資 材 店 舗 精 米 所	金 融 部		給油所	
			窓 口	A T M	愛 別	上 川
12月26日(土)	8:30~ 12:30迄	休 業		9:00~ 12:30迄	8:00~ 18:30迄	8:00~ 18:30迄
12月27日(日)	休		業		8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12月30日(水)	8:30~ 12:00迄				8:00~ 17:00迄	
12月31日(木) [大 晦 日]	休		業		8:00~ 12:00迄	
1月1日(金) [元 旦]	休		業			
1月2日(土)	休		業		9:00~ 16:00迄	
1月3日(日)	休		業		9:00~ 16:00迄	
1月4日(月)	本所8:30~16:30迄 支所8:30~16:00迄		本所9:00~16:30迄 支所9:00~16:00迄		8:00~ 16:30迄	8:00~ 16:00迄
1月5日(火)	通 常 業 務					